



他企業の冬のボーナス（賞与・一時金）妥結状況

経団連が6日発表した大手企業の冬のボーナスの妥結状況（第1回集計）によると、74社の組合員平均は1.19%減の91万6,396円（2016年は92万7,420円）となり、5年ぶりに減りました。「労働組合がベースアップの獲得を優先し、要求水準を下げた」（労働政策本部）ためですが、なお高水準にあるそうです。夏冬ボーナス一括で妥結した企業が多く、夏に5年ぶりにマイナスとなった流れを反映しました。ただ第1回集計としては2015年から3年連続の90万円越えて、1959年の集計開始以来初めてとのこと。

2017年年末賞与・一時金 大手企業業種別妥結状況

業種	2017年年末			2016年年末
	社数(社)	妥結額(円)	増減率(%)	妥結額(円)
非鉄・金属	8	763,468	3.72	736,072
食品	3	916,256	4.40	877,678
紙・パルプ	6	687,197	△1.52	697,772
科学（硫安含む）	13	888,951	2.31	868,846
セメント	5	766,601	△1.09	775,058
機械金属	1	—	—	—
電機	7	852,098	△0.34	855,014
自動車	19	971,070	△1.94	990,266
造船	10	814,747	△1.60	827,994
商業	1	—	—	—
通運	1	—	—	—
総平均	74	916,396	△1.19	927,420
製造業平均	72	921,907	△1.22	933,315
非製造業平均	2	667,858	△0.73	672,750

※票の黄色は、妥結額が昨年と比較して増加した業種です

※業種の非鉄とは、鉄以外の金属(銅・ニッケル・アルミニウムなど)を精製する企業です

※一部欄の「—」表記は、集計者数が2社に満たないため表記しています。なお、表下部の平均には含まれて計算されています(妥結額等は非公表のため不明)

力を合わせて年末手当満額回答を勝ち取ろう！！